

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

第8回定時社員総会 報告資料

※会場出席される場合は本資料をご持参ください

第1号報告 2020年 事業報告の件

(事業報告書・寄付金報告・2020年主な活動一覧)

2020年（令和2年）事業報告書

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

SL 災害ボランティアネットワーク（以下、本法人）は、大規模災害に備えて、自主的な防災活動、被災地支援活動を行い、災害の被害を軽減することを目的に活動している。2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していた事業の多くを中止せざるを得なかった。その中で、広く一般に募金をし、その資金をもとに「感染症予防ガウン」の製作を行った。この方法は、当法人の新しい取り組みの一つとなった。

1. 地域・職場・学校等での自主的な防災活動事業

① 自主活動～地域ネット活動

各地域ネットでは、コロナ禍においても、地域の事情に応じてオンライン定例会を開催し、会員同士の交流と意見交換等を行った。

② 防災訓練の指導と訓練参加

コロナ禍において、主だった防災訓練は中止となったが、第41回九都県市合同防災訓練千葉県会場（野田市）では、本法人が加盟する千葉県災害ボランティアセンター連絡会にて、野田市社協とともに災害ボランティアセンター立上げ情報訓練をオンラインで実施した。

また、地域等の防災訓練で使用するため非常用炊出袋、レシピ集の頒布は引き続き行った。

③ 受託事業の実施

コロナ禍のため、地域、社協、行政からの委託事業も大半は中止となったが、神奈川県教育委員会受託事業として神奈川県立高校5校（のべ6回）を対象にDIG^{*1}を実施した。また、神奈川県教職員5年経験者研修事業に、本法人で作成した教材を提供するなど、防災教育に協力した。

また、千葉県では、千葉県防災研修センター事業として、計4回の研修に講師を派遣した。

*1. Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとった災害図上訓練のこと。

2. 災害時における被災地支援事業

【感染症予防ガウン製作活動】

- ・ 本法人では、各地域ネットワークとともに、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の流行に備えて避難所運営や災害ボランティアセンターなどで受け入れ業務に携わるスタッフが安心して活動できるよう「感染症予防ガウン」「簡易フェイスシールド」の製作に組み、予防に努める活動を行った。これは、あくまでも簡易のガウンで、初動期の活動者が少しでも安心して活動できるための「自衛」として実施したものである。
- ・ また、その製作にあたる費用（材料費・資機材費・運搬費・管理費等）は広く一般に募金を集めて賄った。（詳細は寄付金報告書を参照）

3. 会員の知識と技能向上のための教育訓練事業

① 自主企画のセミナーの開催

会員による自主的なセミナーとして、今回初めて非常用炊出袋とレシピ集を使い、参加者が自宅で炊飯実習をする「オンライン災害食講座」を実施した。

また、防災談話室は、上半期は中止を余儀なくされたが、下半期はZoomによるオンライン開催を行った。

- ・ SL 防災談話室@mansion・・・9/9・11/11

② リーダー及びインストラクターを育成する事業

神奈川県教育委員会の受託事業である DIG 事業への講師・ファシリテーターを派遣できるように教材作成をおこなった。また、各学校へ派遣する講師・FT 向けに「コロナ禍の中の DIG 演習における注意事項」などを作成・共有し、指導した。

③ 見学会、講演会、等の実施

地域を超えた会員の相互交流・親睦を図るため、県域でのオンラインミーティング等を行った。

- ・ 9月1日には SL 全体ミーティングを初めて Zoom によるオンラインで開催し、「あなたの家の『そなえ』を紹介」と題したワークショップを実施した。
- ・ 千葉県では10月の秋季研修で会場とオンライン併用で「google マップストリートビューを活用した DIG」の研修会を行った。
- ・ 神奈川県では集合型の「かながわ・よこはま防災ギャザリング 2020」がコロナ禍の影響で、オンライン開催となり、本法人から動画を提供した。
- ・ 10月13日に新宿京王プラザホテルで開かれた「住環境・生活環境/アレルギー EXPO2020」のライブ配信へ協力し、「災害時の食」をテーマに非常用炊出袋の頒布や防災の普及啓発を行った。

4. 災害救援ボランティアリーダーを育成する事業等への協力

災害救援ボランティア推進委員会が主催する「災害救援ボランティア講座」等への講座運営を支援し、社団活動の説明を行い、新規会員の確保を行った。

5. その他、目的達成に必要な事業

① 理事会の開催および運営等

Zoom を利用したオンライン理事会を開催した (2/7、3/3、6/19、7/15、9/4、12/11)。

正会員数は 600 人 (12 月末現在)

② 運営委員会の開催および運営等

東京・神奈川・千葉・埼玉から選出された委員で構成する運営委員会は、3月4月は中止したものの、5月以降は Zoom を利用したオンラインで毎月 1 回定例会を開催し、横断的な情報交換、事業の企画・運営を話し合った。

③ 広報啓発事業

災害救援ボランティア推進委員会が年 6 回発行している会員向け広報紙「SL News Letter」の編集・発送に協力した。またホームページ並びにフェイスブックを運用し、広報周知を図った。

④ 関係団体との連携事業

千葉県では、千葉県災害ボランティアセンター連絡会に、埼玉県では「彩の国会議」に、神奈川県では、県民センター支援室会議に参加協力した。また、シェイクアウト提唱会議と協力して、自治体でのシェイクアウト訓練の普及活動を行った。

⑤ 寄付金募集

本法人の財政基盤の強化と活動促進のために広く寄付金を募り、災害対応積立金に充てた。

(詳細は寄付金報告書を参照)

以上

(参考資料)

寄付金報告

寄付期間：2020年1月1日～2020年12月31日

2020年の一般寄付金は、12月31日現在で、合計189,900円（31件）が集まりました。

今期は、コロナ禍のためSL活動が十分に行えなかったため、集まった寄付金は、全額災害対応積立金に積み立てました。

また、一般寄付金の他、感染症予防ガウンの寄付金も募り、590,328円（89件）のご寄付をいただきました。感染症予防ガウン寄付金の収支報告は、ホームページ等で既に報告の通りです。なお、感染症予防ガウンの寄付金のうち、553,500円（83件）については、目的変更の同意を得たうえで、災害対応積立金へ積み立てました。

詳細は下記の通りです。

【受取寄付金】

項目	件数	金額	摘要
一般寄付金	31	189,900	
感染症予防ガウン	89	590,328	一般67件・SL22件
感染症予防ガウンの目的変更分	83	553,500	SL同意者83名
合計金額		1,333,728	指定正味財産・受取寄付金

【事業支出】

項目	金額	摘要
感染症予防ガウンの費用	501,779	物品寄付へ計上
感染症予防ガウン事務諸経費	88,549	事業費へ計上

【積立金】

災害対応積立金へ積み立て	189,900	
災害対応積立金へ積み立て	553,500	
合計金額	743,400	指定正味財産

以上